

大東市以前の南郷村、とりわけ新田地区では蓮根の栽培が盛んでした。百町歩の水田のうち、三十町歩ほどで栽培していたそうです。7～8月には一面に美しい蓮の花の咲く風景が見られました。1960年代の土地区画整理事業により地域は大きく変わりました。



市民のみなさんと議会をむすぶ

だいとうし 議会だより

2011年

5月

3月定例会号 No.55

審議の内容がもっとわかる！

本会議の録画映像がインターネットでご覧になれます
大東市議会ホームページ
<http://daito.gijiroku.com/gikai/>

だいとうし議会だよりについてのお問い合わせ
大東市議会事務局 TEL.072-870-0763

もくじ

3月定例会のあらまし	2～3
代表質問	4～7
一般質問	8～10
市議会レポート	10
一般質問項目／議会活動日誌	11
議案の審議結果	12



市議会を傍聴 しませんか

次の定例会の開催予定日です

- 6月 3日(金)／本会議(議案上程・委員会付託)
9日(木)／いきいき委員会
10日(金)／いきいき委員会
13日(月)／まちづくり委員会
14日(火)／まちづくり委員会
22日(水)／本会議(一般質問)
23日(木)／本会議(一般質問)
24日(金)／本会議(一般質問・委員長報告・表決)

変更となる場合がありますので、事前にお問い合わせください。
※請願・陳情の受付期限は、5月24日(火)です。

23年度一般会計、7特別会計、水道事業会計予算を可決

平成23年3月第1回定例会を2月28日に開会し、平成23年度一般会計・各特別会計・水道事業会計予算、平成22年度各会計の補正予算、条例の制定・一部改正などを審議し、24日に閉会しました。また、6日には日曜議会を開催し、代表質問を行いました。
(最終ページに関係記事)

総額707億4654万円の 23年度当初予算を可決

平成23年度予算案を賛成多数で可決しました。一般会計396億8125万円、国民健康保険・下水道事業・介護保険など7特別会計の合計が276億389万円、水道事業会計34億6141万円となっており、予算総額は前年度(当初ベース)に比べ3億987

7万円の減、一般会計は13億9544万円の増、特別会計は17億510万円の減、水道事業会計は8911万円の減となっています。

主な事業は、

●市制施行55周年を記念し、記念式典および記念イベントを開催する市制55周年記念事業に364万円

●土砂災害から市民の生命財産を守るため、防災関係機関等より避難勧告等を判断する際に必要な情報を収集するとともに、過去の被害データ等を分析してシミュレーションを行い、避難勧告等の具体的な判断基準や対象区域の設定、情報伝達体制等についてマニュアルを作成する避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成事業に397万円

●供用開始後20年経過の公園施設について、バリアフリー対応を中心としたリニューアル、快適な施設への再整備を推進する都市公園再整備事業に5815万円

●防災拠点の整備計画に基づき大東中央公園の整備を行う大東中央公園新設事業に4億3764万円

●JR野崎駅・四条畷駅周辺において特色ある魅力的な整備を図るため、基本構想および基本計画に基づき現地測

量等を実施する野崎駅・四条畷駅周辺整備事業に4299万円

●公共下水道の整備を推進することにより生活環境と水質の改善を図り、浸水対策等自然災害の防止に努める管渠築造新設事業に5億8233万円

●市域山間部の汚水処理施設(合併浄化槽)を整備し、公共用水域の水質保全を図る浄化槽設置事業に3463万円

●消費生活に関する相談業務の充実強化を図るとともに、消費者教育の普及促進を目的とした消費者リーダー養成講座を実施する消費生活支援事業に1615万円

●防犯灯を計画的に設置し、地域の安全を推進するとともに、既設防犯灯の一部をLED防犯灯に切り替える防犯灯設置経費に965万円

●府の緊急雇用創出基金を活用し、だいたいとう名物実行委員会において選定された「だいたいとうのええもん」を市内外へ発信し、雇用の創出を図るとともに、産業振興、観光へとつなげる、だいたいとうのええもんPR事業に1618万円

副議長に豊芦勝子議員



副議長 豊芦 勝子

プロフィール

平成8年に初当選、4期目

日本共産党議員団

少子化問題特別委員会委員長、歴史文化的
史跡の保存と整備に関する特別委員会委員
長などを歴任

62歳、御供田五丁目8番10号

3月24日の本会議において、
副議長に豊芦勝子議員が選出さ
れました。

● 現行の障害福祉計画（第2期）の点
検・評価および見直しを行うとともに、
第3期計画を策定する障害福祉計画推
進事業に325万円

● 児童虐待対応アドバイザーを配置
し、児童虐待の早期発見・早期対応と
未然防止を図る児童虐待防止事業に5
03万円

● 労働形態の多様化、保護者の疾病、
緊急時などに対応するため、休日の保
育をNPO法人への委託によりキッズ
プラザにおいて実施する休日保育事業
に198万円

● 妊婦健康診査費用の公費負担を充実
させ、妊婦の経済的負担の軽減を図る
とともに、積極的な受診を促す妊婦健
康診査事業に6178万円

● 子宮頸がん予防ワクチン、小児用肺
炎球菌ワクチン、インフルエンザb菌
（Hib）ワクチンの接種費用を助成
することで、接種率の向上を図り、感
染を予防し、市民の健康を守る予防接
種助成事業に1億6272万円

● 各校園への巡回・発達相談の拡大、
小中学校への学習支援員の配置、通級
指導教室の設置等により、発達に課題
のある幼児・児童・生徒への適切な支
援の充実を図る特別支援教育充実事業
に802万円

● 統合予定校である北条小学校・北条
西小学校の通学路整備を行う学校通学
路整備事業に8261万円

● 四条北小学校校舎の耐震化・エレ
ベーター設置工事等を実施し、学校施

設の安全性を向上させる四条北小学校
大規模改修事業に4億3055万円

● 住道南小学校・諸福中学校の屋上に
太陽光発電システムを設置し、温室効
果ガスの削減と環境教育の推進を図る
太陽光パネル設置事業に6232万円

● 老朽化により使用に支障をきたして
いる住道南小学校のプールの改築工事
を行う住道南小学校プール改築事業に
1億1898万円

● 四条中学校校舎の耐震化・エレベ
ーター設置工事等およびプール改築工事
を実施し、教育環境の改善と学校施設
の安全性向上を図る四条中学校大規模
改修事業に7億7429万円

● 諸福幼稚園および北条幼稚園園舎の
耐震診断を実施する諸福・北条幼稚園
大規模改修事業に431万円

● 四条小学校跡地を活用した複合施設
の建設に伴う工事および備品整備等
を行う四条小学校跡地活用事業に7億5
266万円

● 平野屋新田会所および飯盛山城の確
認調査、分布調査を実施し、保存活用
を図る文化財保護整備事業に286万
円

（金額は1万円未満四捨五入）

市立歴史とスポーツふれあい センター条例を可決

旧四条小学校校舎・跡地の一部に開
設される「市立歴史とスポーツふれあ
いセンター」の設置・管理・使用につ
いて必要な事項を定めた市立歴史とス

ポーツふれあいセンター条例を賛成全
員で可決しました。一部の規定を除き
平成24年4月1日から施行され、これ
に伴い同センターに「市立歴史民俗資
料館」「市立四条体育館」「市立四条
グラウンド」「市立ふれあいルーム」
の4施設が設置されます。

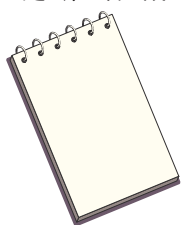
なお、現在総合文化センター内に設
置されている歴史民俗資料館は、23年
11月30日をもって閉館となります。

市立図書館条例の 一部改正を可決

旧四条小学校校舎・跡地の一部に「市
立東部図書館」が設置されることに伴
う、市立図書館条例の一部を改正する
条例を賛成全員で可決しました。「市
立東部図書館」は、平成24年4月1日
に開館します。

議会市民レポーター

平成23年4月1日付で10人の市
民の方々が、中野正明議長より「議
会市民レポーター」に委嘱されま
した。任期は1年で、議会活動や
議会運営について市民の目線で意
見をいただく
とともに、議
会の広報・啓
発にもご活躍
いただく予定
です。



岡本市長の施政方針を受けて、3月6日の日曜日に4会派の代表が質問を行いました。掲載希望のあった項目を要約して掲載しています。

公明党議員団

問 市民から治安の悪化を心配する声が頻繁に聞かれます。本市のひたたくりなどの犯罪件数は他市よりも多く、大変憂慮すべき事態です。府に、交番の増設や警察官の増員を要望するのはもちろんですが、警察OBの活用や地域防犯への支援強化、スーパー防犯灯や防犯カメラの活用など、市独自の施策が必要ではありませんか。

答 府は、平成22年に街頭犯罪ワーストワンを返上しており、中でも四條畷警察署管内の犯罪減少率は府下トップでした。市民の安全・安心の確保は行政の最も重要な役割の一つと考えており、今後も、効果的な防犯対策の充実に努めていく考えです。

問 大阪モノレールや地下鉄長堀鶴見緑地線などの公共交通は、残念ながらすべて本市境界線の手前で終

わっています。乗り入れの要望を、恒常的に、強く関係機関に求めていくべきではありませんか。

答 JR野崎駅・四條畷駅周辺整備を重点施策として行っており、現段階では広域的な新交通網計画を策定する考えはありませんが、交通便利性向上の研究を不断に行っていくとともに、モノレールの延伸も求めている考えです。

問 「赤ちゃんの駅事業」の拡充と新たな子育て支援策について、見解を聞かせてください。

答 民間事業所の協力も得て、現在31カ所で赤ちゃんの駅を実施しています。今後も、安心して子育てができる施設の充実に努めていきます。

問 中学校給食について、先頃試行したデリバリー方式の利用が少なかつたのは残念ですが、府は中学校の完全給食化に向け、予算措置を行いました。見解を聞かせてください。

答 基本的には中学校給食を実施する方向ですが、先日実施したアンケートによると、保護者の希望が多いのに比べ、生徒の希望は比較的少ないとの結果でした。これを踏まえ、生徒にとってより良い教育・給食環境という観点から、教育委員会に実施方法の検討を指示したところです。

問 スポーツ関連施設の利用は飽和状態にあり、新たな施設の整備が必要と考えますが、どうですか。

答 旧四条小学校跡地での体育館とグラウンドのスポーツ施設整備

や、公園の有効活用など、市民が身近で快適に利用できるスポーツ環境の提供に努めていきます。

問 一人暮らしの高齢者にとっては、地域とのコミュニティ、心のサポートが重要です。高齢者のうちの110番など心のサポートについて、どう展開していきますか。

答 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しており、地域からの孤立を防ぎ、必要ときに必要な支援を受けられるセーフティネットの構築が重要です。今後も、地域包括支援センターでの総合相談支援や「救急安心センター」#7119などのPRをさらに強化し、自殺や孤独死のな

いまちを指して、高齢者の心のケアを支えるセーフティネットの充実に向けた施策を推進していきます。

問 深刻な就職氷河期を迎え、若者の自殺が急増しているとの報道がありました。本市の若年者就労支援について、答弁してください。

答 23年春卒業予定の大学生の就職内定率は68・8%（22年12月1日現在）と発表され、景気の先行きも不透明で、雇用状況は非常に厳しいものとなっています。一方、中小企業では人材を求める状況もあり、大手志向の学生とのミスマッチも指摘されています。本市では、22年度に若年者のインターンシップ事業を行い、市内中小企業への正規雇用を働きかけました。23年度についても同事業を拡大し、若年者の就労支援に努めていきます。



市民会館の玄関に掲げられている「赤ちゃんの駅」設置施設の表示板



末広公園南側に設置されている警察緊急通報装置（スーパー防犯灯）

自民党議員団

問 (1)平成23年度の予算編成では財政調整基金を取り崩していない

とのことで、行財政改革の成果として評価していますが、職員数は、9年度は1221人であったのが、22年度は788人にまで削減されました。市民サービスの低下や業務への影響が懸念されます。どう考えていますか。

答 本市が財政調整基金に頼らない

均衡予算を編成できたのは23年ぶりのことであり、徹底した行財政改革の成果と自負しています。市民サービスの向上のため、今後も義務的経費の抑制や歳入の確保に取り組み、将来に渡って健全財政を維持していきます。

また、適正な定員管理計画に基づいて職員採用を継続し、団塊世代の大量退職には、民間活力や再任用職員などの多様な労働力を計画的に活用して対応します。より効果的で効率的な市民

サービスの提供と、円滑な行政運営に努めているところです。

問 (2)市長は、本市の目指すべき方向について、どう考えていますか。

答 市の将来像である「いきいき安心のまち・大東」を築くため、市民と都市が、安心、元気を兼ね備えるまちづくりを推進していきます。この将来像は30年をかけて取り組むものであり、不断の行財政改革により、総合計画の第2期ステージに向けた基礎固めはできたものと考えています。

問 (3)「ローカルマニフェスト」の登場は、自治体の目指すべき方向を示してくれると考えますが、どうですか。

答 大切なのは、政治家として有権者との約束を守ることです。私は、選挙で具体的な公約の実現を有権者と約束しました。これらはおおむね達成しており、約束は果たせていると考えています。

問 本市が行った事業仕分けの意義や課題、効果をどのように検証しますか。また、議会や市民の意見をどう反映させますか。

答 事業仕分けは、市みずからの業務点検に加えて外部意見を取り入れ、議論することにより、行政の説明責任の徹底と職員の意識改革の推進を目的としたものです。判定結果は市民からの提言と受け止め、今後は議会の意見も踏まえて、判定結果に係る市の方向性を決定していきます。

問 学校統合により、校区が大きく変わります。子どもたちの安全は確保されていますか。

答 通学する学校が変わる児童の登下校の安全を確保するため、通

学路の整備や信号待ちスペースの確保など、安全面に十分配慮していきます。

問 北条西小学校の跡地整備について、どのように考えていますか。

答 市民ニーズが高く、多くの市民の利用が見込める施設の設置を考えています。具体的には、療育センターを中心とした福祉施設やグラウンドを活用したスポーツ施設、地域で活用できる交流スペースなど、地元の意見も聞いた上で検討していきます。

問 JR野崎、四条畷両駅周辺整備について、住民は早期の整備を望んでいます。いつ頃着工されますか。

答 野崎駅については、駅舎の橋上化に向けてJR西日本と協議を進めており、23年度から現地測量やボーリング調査を実施します。四条畷駅についても、23年度から現地測量や用地測量を実施していきます。

問 東部地域では高齢化が進み、山間部の坂が多い地域では買い物も自由に行けない状況です。公平性の観点からも、巡回バスを運行させるべきではありませんか。

答 高齢者の移動手段としては、福祉タクシーや介護タクシーなどがあります。高齢者が住みなれた地域で自立した生活を送れるよう、第5期総合介護計画の策定時に課題やニーズを把握、分析し、交通手段の必要性を検討していきます。



中河 昭議員



駅につながる都市計画道路や駅前広場の整備が検討されているJR四条畷駅



信号待ちスペースの確保が検討されている北条交番前交差点

岡本市長の施政方針を受けて、3月6日の日曜日に4会派の代表が質問を行いました。掲載希望のあった項目を要約して掲載しています。

清 新 会

問 (1)従来より、老朽化している療育センターの建て替えとセンター機能の充実を訴えてきたところで、どのように考えていますか。

答 療育センターの建て替えについては、その必要性を強く認識し、現在、統合後の北条西小学校の校舎を活用する方向で検討しています。機能強化については、子どもたちが充実した療育を受けられる施設、設備を確保し、発達障害に係るサービスにも対応できるよう、民間活力の活用も検討しながら進めていく考えです。

問 (2)作業療法士などを常駐させる考えはありませんか。

答 療育センターは、公設にしたいと考えていますが、運営については専門家に委ねるといふ選択肢もあります。どのようなやり方が利用者にとって一番いいのか、当事者と相談しながら方向性を決めていく考えです。



川口 志郎議員

問 平成21年に策定された「大東市教育ビジョン」の実施計画について、どう考えていますか。

答 教育ビジョンの3本柱は、社会力を高める、人間力を高める、支援力を高める、です。主要な継続的施策として、長期欠席や不登校への対応、学力向上の取り組み、総合的教育力活性化事業などがあります。また、拡大させていく施策として、特別支援教育や学び合う授業づくりへの支援、学校ICT環境の充実、学校支援地域本部事業などがあり、おおむね順調な進捗状況にあります。

問 年度別の実施計画については、それぞれ個々の事業として年間計画のもとに進めており、毎月の定例報告、定期的なヒアリングや報告書などにより各学校の実施状況の把握に努めています。25年度末に前期基本計画の点検、検証を行い、改めて後期5カ年間の方向性を決めていく考えです。

問 高齢者交流スペース設置補助事業は、全ての地域に交流スペースを設置するものではないと理解していますが、どのような基準で配置しようと考えていますか。

答 高齢者交流スペースは、福祉施設、代替機能として、自治会集会所設置とあわせ、高齢者が自由に利用できるスペースを充実させるもので、現行5カ所の老人福祉施設からおおむね半径1km圏外の地域に設置を進めます。また、交流スペース補助制度は、自治会集会所の建設補助を受けて

いるかどうかに関係なく、対象となります。

問 (1)地域自治推進事業は、2地区のモデル事業を経て、27年度までに本格実施されるとのことですが、本事業を進めるには、まず地域力を高め、その地域力を平準化することが必要だと考えます。どうですか。

答 モデル事業を通じて、提案内容の問題点をはじめ、地域や庁内における組織体制の構築など、本格実施に向けた検討に入る考えです。地域力の平準化についても、地域からの提案内容をコーディネートするサポート体制の確立に向け、検討していきます。

問 (2)地域自治推進事業や提案公募型委託事業は、行政の仕事を各地域や団体に肩代わりさせることになりかねません。そうならないため、必要な財源を保障するべきではありませんか。

答 事業が軌道に乗れば、各地域が主体的に行う事業に対して財源移譲することも検討していく考えです。

問 JR野崎駅周辺整備は、利便性の高い駅前空間の創出に向けて取り組まれています。駅前の谷田川への蓋がけも検討されていますが、それでもまだ、広場面積として不十分です。民有地の買収を考えてはどうですか。

答 現在JR西日本および府と協議中であり、駅前広場の形態は決定していません。河川の広範囲な蓋がけは困難とのことですが、今後の状況に応じ、用地買収も視野に入れて検討していきます。



駅舎の橋上化や駅前広場の整備が検討されているJR野崎駅



校舎の一部を療育センターとして活用することが検討されている北条西小学校

日本共産党議員団

問 (1)市長は、国民健康保険税を10年間で6回も値上げしました。

リーマンショックによる倒産解雇で失業者が増えた時期にも2年連続で値上げを強行し、市民の苦しい生活に追い打ちをかけています。本市で、平成22年4月から23年2月までに解雇されて国保に加入した人は686人もいます。国保税を払いたくても払えず、医者にもかかれない市民が多にいる状況をどう考え、対策を打ちますか。

答 高齢化の進展や生活習慣病などの増加による疾病構造の多様化、医療技術の高度化に伴う医療費の増加により国保財政はますます厳しくなっています。一方、本市では、倒産解雇に遭った国保加入者への対応として、市独自の減免を実施しています。国も地方との協議を開始し、低所得者への軽減策などを検討すると聞いてお

り、その内容を見極め、適正な国保運営の方策を検討する考えです。

問 (2)市独自の減免制度は、現状に見合っていないません。我慢を重ねてから病院に行ったらがんと診断され、1カ月足らずで亡くなった人もいます。どう考えますか。

答 国保税で困っている人は、市役所に来て相談してもらえば、事情を勘案し、適切に対処します。しかし、何度も通知を出し、繰り返し電話をかけ、訪問しても連絡が取れないという事例が多く、対応に苦慮しているところ です。

問 23年2月、旧同和関連事業に絡む公金支出に係る裁判の判決があり、市長を含む三者の共謀による違法公金支出2500万円の返還請求が求められています。判決を真摯に受け止め、市民の税金を返還請求し、市民の暮らしに使うべきではありませんか。

答 大阪地裁の判決が出ましたが、本市の主張が認められなかったため、控訴することとしました。

問 行政と企業は目的が異なり、これらをコスト論だけで比較していると、市の将来に禍根を残すこととなります。市の将来に禍根を残すことと

児童は増加し、また、深刻な児童虐待の問題もあり、保育所の役割はますます重要となっています。各種の専門職や保育士を正規職員として雇用すべきではありませんか。

答 本市の行財政改革は、行政サービスを下させず、多様化する市民ニーズに積極的に対応するもので

す。最も効率的な方法で行政サービスを提供できるよう努めており、多様な労働力を活用することで就労支援にもつながると考えています。今後も、正職員が担うべき業務と民間活力で行う業務とを峻別し、より効果的、効率的な方法で市民サービスの提供に努めていく考えです。

問 市長は公約通り、医療費無料化を小学校3年生まで引き上げるべきです。どう考えていますか

答 乳幼児医療費の公費助成は、子育て支援策として重要と認識しており、府の助成は3歳未満までですが、本市では、就学前まで上乗せして実施しています。さらなる拡充は、府下各市の動向を見極めながら検討していく考えです。

問 市の歴史を明らかにした上で、今後の方向性と市の未来像を見出し、その実現に向けた政策に反映させることが重要です。飯盛山城や堂山古墳、平野屋新田会所などの新しい研究成果を取り入れ、5年後の市制60周年を射程に、21世紀の市史を編まできませんか。

答 さまざまな資料が残されており、それをまとめるのは、あまり難しい作業ではないと考えます。しかし、飯盛山城などを盛り込もうとすると、専門家の助力が必要となります。「大東市史」の発行から30年が経過していますが、市史編さんは時代を区切る事業であり、時期や方法について検討するべきだと考えています。



昭和48年～平成元年にかけて発行された「大東市史」



一般質問

今期定例会では、11人の議員から一般質問がありました。各議員が希望した項目を要約して掲載しています。各議員の一般質問の主な項目は11ページ上段のとおりです。

「買い物難民」についてなど

飛田 茂議員（日本共産党議員団）

問

(1) 交通手段を持たない高齢者にとって、東部山間部の坂は大変な負担で、要介護・要支援未済であっても、日常的な買い物や公共施設へ行くのに苦労している状況です。このような実態や高齢者のニーズを把握していますか。

答

全国的に、山間部などでは、買い物や移動手段などの日常生活に不可欠な機能が弱体化している地域が発生しており、本市でも懸念されるところです。今後、第5期総合介護計画に基づく日常生活圏域ニーズ調査を実施し、課題やニーズの把握に努めていく考えです。

?

(2) 療育センターの利用状況の変化はどうなっていますか。また、訓練のために必要な理学療法士などの専門職員の配置は十分ですか。

!

発達障害や医療的ケアを要する肢体不自由児が増加傾向にあり、限度一杯の利用状況です。専門職は、保育士、看護師、発達相談員のほか、作業療法士は健康いきがい課からの派遣、音楽療法士は嘱託で配置しています。



専門職員の充実が望まれる療育センター

公共施設での

国旗掲揚についてなど

岩淵 弘議員（自民党議員団）

問

(1) 本市の全公共施設に国旗を掲揚すべきと考えますが、どうですか。

答

国旗掲揚は、日本人としての誇りや自覚を喚起するために有意義であると考えています。市役所本庁や消防署、水道局など、主要施設には掲揚していますが、今後は設備等を調査し、順次全施設に掲揚していく考えです。

?

小・中学校でも国旗を掲揚すべきではありませんか。

!

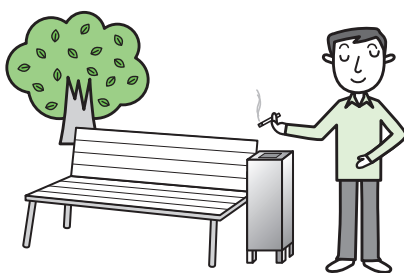
全校で掲揚するよう取り組みます。

?

(2) 住道駅前広場でのたばこの吸い殻のポイ捨てが多く見受けられます。吸い

！ 殻入れを設置できませんか。

受動喫煙対策や通行への配慮を考え、設置場所などを研究していきます。



?

(3) 深野寺方線より三箇小学校校門までの道路をスクールゾーンとし、通行規制できませんか。

!

学校、PTA、地元役員、市および教育委員会の職員をメンバーとして協議を行い、この結果をもって警察への要望・協議を行っていく考えです。

介護支援ボランティア制度

について

水落康一郎議員（清 新 会）

問

介護支援ボランティア制度は、高齢者が行うボランティア活動に応じてポイントを付与することで、翌年の介護保

答

険料を軽減できる制度です。この制度は、元氣な高齢者の経験が地域社会に還元され、また、高齢者の社会参加への促進、生きがいづくりや、介護予防にもつながります。ポイント付与の上限額や、どの種のボランティア活動を対象とするかは検討課題ですが、本市では、子ども見守り隊の活動や元氣でまっせ体操への参加など、高齢者がみずからの意思で社会活動に参加する、あるいは元氣でいられるよう活動する事業もポイント付与の対象にしたいと考えています。制度の導入について、どのように考えていますか。

高齢化が進展する中、高齢者が生きがいを持って社会活動に参加し、元氣で生き生きと暮らせるための支援が、今後ますます重要となります。他の自治体の実施状況などを十分調査、研究し、どうあるべきかを検討していきます。

公会計制度の改革

についてなど

大東真司議員（公明党議員団）

問

(1) 本市を含め、ほとんどの自治体の財務会計は単式簿記・現金主義を採用していますが、東京都は複式簿記・発生

主義会計を導入し、財政再建に成功しました。本市もこれからの時代を見据え、複式簿記の導入を進めるべきだと考えます。見解を聞かせてください。

答

新公会計制度をめぐっては、複数の作成方法があるなど過渡期的な状況ですが、導入により職員のコスト意識が高まるという利点もあり、方向性がある程度定まった段階で、資産台帳の整備など必要な環境を整えていきます。

？

検討委員会を立ち上げ、導入に向けての研究を進めるべきではありませんか。

！

職員の意識改革を含め、全庁的な取り組みが必要であり、プロジェクトチームなどの設置も考えていきます。

？

(2)一人暮らしの高齢者対策として、警察にパトロール中の見守り活動を要請できませんか。

！

今後、警察との見守り活動の連携強化に向けて、相談していく考えです。

副市長の公募についてなど

澤田貞良議員（自民党議員団）

問

(1)専門知識に通じ、リーダーシップの発揮できる人材を2人目の副市長として公募し、政策アドバイザー的な担当にしてはどうですか。

答

本市は、重要な方針を決める際の政策会議で、大学教員や学識経験者、企業経営者から助言を受けるなど、民間の視点を取り入れる工夫をしています。また、技術的な補完は各部長が十分カバーできると考えており、意思決定の迅速化の面からも、単独の副市長制が

最適と考えています。

？

(2)中学校給食は、どのような方式で、いつ頃実施する予定ですか。

！

P.T.A.、学校関係者、学識経験者などで構成する検討会を設置し、自校調理方式か給食センター方式か、弁当・給食の選択制か全生徒への一律提供か、など多岐にわたる検討を行う予定です。現段階で、いつから実施するとの想定はありませんが、実施方法などについて、早期に一定の結論を出していく考えです。



大阪府市町村職員互助会の解散と精算金について

光城敏雄議員（無党派）

問

互助会の職員厚遇問題、ヤミ退職金については私も訴訟を起こしましたが、府互助会が解散に至った経緯と、精算金について、答弁してください。

答

府互助会の退会給付金制度が退職金の上乘せに当たる違法なものとして、公費負担の一部返還を求める住民訴訟が発端です。公的資金で運営を継続することについての批判を考慮し、平成21年3月31日に解散しました。返還され

た精算金は総額約1億2千万円です。

？

多くの市民の税金をつぎ込んだ府互助会の精算金を「安全で安心なまちづくり基金」に積み立てるとのことですが、安心・安全は当然のこと、通常の事業を行うべきです。この精算金は、他の使い道があるものではありませんか。

！

本市の喫緊の課題である防犯対策について、短期間で一定の事業費を充当するために基金を設置し、防犯意識を高め、犯罪を予防する取り組みを推進することとしたものです。

枚方富田林線の歩道整備をなど

中河 昭議員（自民党議員団）

問

(1)府道・枚方富田林泉佐野線（北条地区）に歩道を設置する件について、進捗状況はどうなっていますか。

答

府は、寺川交差点・野崎停車場線北側間の約1100mに歩道を設置する工事を行い、用地買収が難航している寺川地区の一部を除き、ほぼ完成しています。野崎停車場線・北条地区間については、平成21年7月に地元住民と枚方土木事務所、本市による会議を行いました。市は再三要望しており、今後府と市が協調し、早期に歩道整備が進められるよう取り組んでいきます。

？

(2)飯盛山荘は、22年12月の事業仕分けで廃止と判定されましたが、今後どうなりますか。

！

高齢化の進展などに伴い、施設の場所や設備・機能の要望は変化してきており、集会所や高齢者交流スペースとの機能分担など、施設のあり方を見直す時期が来ています。利用者の意見を聞き、課題の解決に努めるとともに、庁内で調整を進めていく考えです。

中学校給食の方向性についてなど

内海久子議員（公明党議員団）

問

(1)中学校給食の方向性と、実施する場合の予算について示してください。

答

平成23年度早々に検討会を設置し、自校調理方式か給食センター方式か、選択制か全生徒への一律提供かなどを検討していきます。また、必要経費は、給食センター方式で、施設整備費（土地取得を除く）約13億円と年間運営費約1億6000万円、自校調理方式で、施設整備費約20億円と年間運営費約1億8000万円と見込んでおり、府は23年度から5年間、施設整備費の2分の1を補助すると聞いています。

？

(2)病後児保育について、2カ所目の拡大をすべきではありませんか。



市内で唯一、病後児保育が行われている「彩貴病児保育室」（野崎2丁目）

！ 病後児保育は、病気回復期の判断が難しいことや料金の支払いが敬遠され、利用者は増えていません。また保育所での実施は、感染の可能性が否定できないなどの理由から、医院併設型病児保育室の利用を勧奨してきました。今後、先行自治体の状況や各市の動向を注視しながら検討していく考えです。

同和行政の完全終結を

古崎 勉議員（日本共産党議員団）

問 (1)平成23年2月、大阪地裁で人権団体ヒューネットだいつに関する公金違法支出裁判の判決がありました。市は、市長個人、ヒューネットら三者に2500万円余りの損害賠償を請求せよとの内容です。市は控訴しましたが、取り下げるべきではありませんか。

答 地裁の判決で本市の主張が認められず、改めて高裁の判断を仰ぐために控訴したもので、取り下げは考えていません。市単費の旧同和関連事業向け予算が2億4000万円あります。廃止すべきではありませんか。

？ 同和問題解決に向けた施策の推進は、重要な行政課題です。旧同和関連事業向け予算を人権行政予算と位置づけ、あらゆる市民の人権を守り、市民的諸権利の確立・維持・発展に資するため、予算措置しています。

！ (2)中学校給食は、弁当との選択制ではなく、全員給食にすべきではありませんか。

？ 全生徒への一律提供で考えています。

まちづくりビジョンについて

寺坂修一議員（公明党議員団）

問 地方自治体におけるまちづくりの最大のポイントは、人口減少をいかに食い止めるかです。そのためには子育て支援、若者支援が必要だと考えます。どのような将来ビジョンを持って、今後のまちづくりを行いますか。

答 保育所待機児童ゼロの実現、子育て支援施設の充実、学校耐震化の早期達成見込みなど、子育てしやすい環境が整備されつつあると考えており、国勢調査の人口速報値によると、実質人口が5年前より増加しています。今後も、若い世代がいきいきと生活できるまちの創造に全力で取り組む考えです。

？ 広域災害の場合、周辺都市も被害に遭うこととなります。このような状況を見越し、遠方の都市と災害援助協定を結べませんか。

！ 府が企業や他府県と災害支援協定を結んでおり、支援体制は一応確保されていると考えていますが、個別自治体と協定を結んでいる事例を参考に、調査研究していきます。

？ 市の花・菊のアピールを

三ツ川武議員（無会派）

問 (1)平成23年は、市制55周年の節目の年です。60周年に向け、市の花・菊をアピールするため、菊花展の開催や花壇の整備はできませんか。

答 23年1月に結成された「大東菊友の会」

は、4月から菊栽培の講習会を開催し、11月初旬に、末広公園で受講生による菊展示会を開く予定です。また今後、花壇などの整備も必要になってくると考えています。市民とともに市のシンボルを盛り上げる取り組みは、市の魅力発信に効果的であり、周年ごとを一つの節目として検討していく考えです。

？ (2)旧四条小学校の跡地は、図書館や歴史民俗資料館などに生まれ変わります。生駒山系の面的整備を行い、周辺の野崎観音、専応寺、飯盛城址、堂山古墳などを含めた一帯を、歴史文化の観光地として整備できませんか。

！ 今後、当該歴史民俗資料館周辺の文化財をめぐる拠点整備を行い、それらが一定整った時点で、面的整備について検討していきます。



平成24年4月に図書館、歴史民俗資料館などとして生まれ変わる旧四条小学校

市民レポーターの

聞いて見て

だいたい市議会

3月議会を傍聴して

日曜議会では、傍聴者も多く、開会前に行われた議場コンサート謡曲も、生の古典芸能に触れることができ、とてもよかったです。今後もぜひ続けてほしいと思いました。一般質問は、一議員50分の持ち時間で、限られた時間内に、市民のために本当に全力投球されているのがよく伝わりました。また、最終日の各議案の表決は、議場の厳粛さと合わせて感動しました。

議会市民レポーターという貴重な体験をさせていただき、感謝いたします。(K.N.)

一年間のレポーター活動を通して

一年間の議会市民レポーターとして最後になりました。夜間議会を含めた本会議の傍聴、議員との対話を通して、開かれた市議会を目指されていることが分かり、大東市を良くするために頑張っておられるのが十分伝わってきました。

今後は、活気あるまちづくりのグランドデザインを描いていたとき、市民一人ひとりが行政に参加していくべきだと思います。(H.I.)

一般質問の主な項目（緑色の項目は8～10ページにその質疑の要約を掲載しています）

大東 真司議員

- 公会計制度改革、複式簿記導入について
- ・ 複式簿記導入のメリットの認識について
- 市が管理する河川・水路について
- 独居高齢者対策について
- 市役所業務の休日開庁について

内海 久子議員

- 安心・安全なまち、大東へ
- ・ スーパー防犯灯の設置拡大を
- ・ 防犯委員会・青少年指導員の活動支援
- 飯盛山の自然を活用した歴史・文化の整備
- 第2体育館の建設などスポーツ環境の整備を

澤田 貞良議員

- 福祉窓口のワンストップ化について
- 市職員人事の適正配置について
- 保育所民営化について
- 消防の広域化について
- 交通災害共済事業と火災共済事業の業務統合

三ツ川 武議員

- 地域主権、地域政党に対する市長の考え方
- 運動公園の管理について
- 公共施設への太陽光パネルの設置について
- 市内3駅周辺整備と地域活性化について
- 市職員のボランティアに対する認識について

古崎 勉議員

- 同和裁判の控訴取り下げと旧同和行政の廃止
- 住宅リフォーム条例の制定について
- 自校方式による中学校給食の実施について
- 太子田水路の整備、「せせらぎ化」について
- 府が廃止した事業の市単独での実施について

光城 敏雄議員

- ごみ収集委託事業と随意契約の全般について
- 市立図書館の午前9時開館と図書の返却率
- 事業仕分けを仕分けする－その活用と効果
- 職員互助会の解散・破産に伴う清算金と基金
- 『だいとうのええもん』創刊とツイッター

水落 康一郎議員

- 介護支援ボランティア制度について
- 防犯灯の高輝度化、LED化について
- 徴税機能の強化について
- 買い物弱者支援策について
- 職員の定員管理について

飛田 茂議員

- 火災警報機設置に向け他の部課と協力を
- 療育センター卒園後にアフターケアを
- LED設置・切り替えの全体計画について
- LED防犯灯開発の市内業者への委託を
- 市営住宅の常時募集と震災被災者の受け入れ

寺坂 修一議員

- 大東のまちづくりビジョンについて
- 本市における住民自治の推進について
- 観光都市大東市について
- 地域公民館の建設支援と公共施設・学校施設の耐震化について

岩淵 弘議員

- 氷野ポンプ場から放流される汚水の改善対策
- 恩智川のゴミ対策について
- 住道駅前大橋の防風対策について
- 市役所～阪奈道路間の駐輪対策・道路整備
- 南郷中学校正門付近の駐車禁止と橋の改善

中河 昭議員

- 都市計画道路北条中垣内線の整備について
- 北条小学校の通学路の安全対策について
- 北条西小学校の跡地問題について
- 山間部へのコミュニティバスの導入について
- 区長へのバックアップ体制について

※掲載は発言順



議会活動日誌（平成22年12月第4回定例会以降のもの H.22.12.23～H.23.3.24）

12月

- 24日 ● 飯盛霊園組合議会
- 28日 ● 大東市マナー条例の制定に関する専門部会

1月

- 4日 ● 大東市マナー条例の制定に関する専門部会
- 7日 ● 会派代表者会議
- 14日 ● 大東市マナー条例の制定に関する専門部会
- 大東市農業委員会
- 19日 ● 淀川左岸水防事務組合議会臨時会
- 21日 ● 大東市マナー条例の制定に関する専門部会
- 大東市都市計画審議会
- 25日～26日 ● 河北市議会議長会及び管外行政視察
- 28日 ● 東部大阪治水対策促進議会協議会管内視察
- 31日 ● 大東市マナー条例の制定に関する専門部会

2月

- 1日 ● 合同委員会報告会
- 議会運営委員会協議会
- 4日 ● 大阪府市議会議長会理事会
- 大東市民生委員推薦会
- 8日 ● 東大阪都市清掃施設組合行政視察
- 9日 ● 大阪府後期高齢者医療広域連合議会
- 10日 ● 行財政改革に関する特別委員会
- 河北市議会議員合同研修会
- 会派代表者会議
- 15日 ● 学校統合と跡地・教育環境に関する特別委員会
- 大東市農業委員会

- 16日 ● 大東市マナー条例の制定に関する専門部会
- 議員研修会
- 新駅設置と市内3駅周辺整備に関する調査研究特別委員会
- 18日 ● 大阪府都市計画審議会臨時会
- 21日 ● 全議員議案説明会
- 議会運営委員会
- 24日 ● 東大阪都市清掃施設組合議会
- 25日 ● 大東市農業委員会現地視察研修会
- 28日 ● 議会運営委員会
- 全員協議会
- 本会議（第1日目）
- 議会活性化推進協議会

3月

- 1日 ● 大阪府市議会議長会理事会・総会
- 6日 ● 本会議（第2日目）
- 7日 ● 大東市農業委員会
- 8日 ● いきいき委員会
- 9日 ● いきいき委員会
- 10日 ● まちづくり委員会
- 14日 ● 会派代表者会議
- 17日 ● 大東市マナー条例の制定に関する専門部会
- 18日 ● 会派代表者会議
- 議会運営委員会
- 22日 ● 本会議（第3日目）
- 23日 ● 本会議（第4日目）
- 会派代表者会議
- 24日 ● 本会議（第5日目）

付議された議案の審議結果 3月定例会

○賛成 ×反対

件 名		会派・議員名(議席順)	公明党 議員団	自民党 議員団	清新会	日本共産 党議員団	無会派			結果
			大谷真司 大東真司 内海修一	澤田貞良 中河昭博 岩谷弘※	水落康郎 川口志郎 中野正明	飛田茂 古崎勉 豊芦勝子	光城敏雄	三ツ川武	松下孝	
平成22年度補正予算	一般会計補正予算(第5次)		○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算(第6次)		○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第3次)		○	○	○	○	○	○	○	可決
	下水道事業特別会計補正予算(第3次)		○	○	○	○	○	○	○	可決
	都市開発資金特別会計補正予算(第1次)		○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険特別会計補正予算(第3次)		○	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2次)		○	○	○	○	○	○	○	可決
平成23年度予算	一般会計予算		○	○	○	×	×	○	○	可決
	国民健康保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	可決
	交通災害共済事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	可決
	下水道事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	可決
	火災共済事業特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	可決
	都市開発資金特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	可決
	介護保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	可決
	後期高齢者医療保険特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	水道事業会計予算		○	○	○	○	○	○	○	可決
	固定資産評価審査委員会委員(橋本 正幸 氏)の選任		○	○	○	○	○	○	○	同意
条例の制定	副市長(今井 清 氏)の選任		○	○	○	○	○	○	○	同意
	市立歴史とスポーツふれあいセンター条例		○	○	○	○	○	○	○	可決
条例の一部改正	基金条例		○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険条例		○	○	○	○	○	○	○	可決
	道路占用料徴収条例		○	○	○	○	○	○	○	可決
	排水設備工事に係る責任技術者および指定工事店に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	可決
	市立図書館条例		○	○	○	○	○	○	○	可決
	市職員の育児休業等に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般職の職員の給与に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	可決
	市議会委員会条例		○	○	○	○	○	○	○	可決
陳 情	特定健診の無料化と内容の充実を求める陳情書									継続審査
その他	北河内二次救急医療協議会規約の一部変更		○	○	○	○	○	○	○	可決
	氷野小学校校舎大規模改造建築工事請負契約の締結に係る議決内容の一部変更		○	○	○	○	○	○	○	可決
	議員の派遣		○	○	○	○	○	○	○	可決
副議長選挙			当選人 豊芦勝子議員 単記無記名投票 有効投票15票(豊芦勝子議員15票)、無効投票1票							

※中谷 博議員(自民党議員団)は、欠席。

議場コンサート

3月6日に日曜議会を開催し、開会前に議場で謡曲のコンサートを行いました。謡曲とは能の詞章、脚本のことで、七五調を基本とし、演目ごとにその情景や心情が表現されています。今回は、大東市謡曲会の宮本茂会長と比良久七郎さんに安宅・勸進帳をご披露いただきました。



義援金ありがとうございました

市議会では、3月11日に発生した東日本大震災への義援金として、同15日に住道駅前で、16日に野崎・四条畷両駅前街頭募金活動を行いました。皆さんにご協力いただき集まった合計78万2009円は、日本赤十字社の義援金口座に振り込ませていただきました。ありがとうございました。